

関東フットベースボール連盟 連絡会議 議事録

開催日時：令和元年 5 月 11 日（土曜日） 10 時 00 分～11 時 45 分

会 場：蕨市中央公民館

出席者：14 名 順不同

（昭島市）福田三喜男、馬場 功、伊東日出高、金城郁太

（蕨 市）藤野 要、田名部 誠、

（羽村市）関本宇一

（秩父市）宮原 勇、畷田英明

（市川市）淡路 洋、小松秀悦、西田昌之、市川義昭、甲山 文美

栃木市は欠席。

■議事

冒頭挨拶 淡路会長

新年度にあたり、まず昨年度の事業協力に御礼申し上げます。

年号も改まり、令和元年度もフットベースボールを通して子供達の健全育成のために事業を進めますので、各市のご協力をお願い致します。

令和元年度 定期総会議案書について

議案書案に基づいて確認しました。（議案書案別紙）

・開催日時/会場 令和元年 6 月 8 日（土）10 時開会 蕨市中央公民館

・議長 秩父市 宮原副会長

（順番では羽村市でしたが、野口副会長の仕事上の都合による変更）

・「平成 30 年度事業報告及び決算報告書」（一部文字訂正）

事業報告、決算報告は訂正なし。

・同時に、監事 2 名により会計監査を実施しました。

・「令和元年度 事業計画案及び予算案」（一部文字訂正のみ）

・役員改選案について（総会議事に役員変更の承認を追加する）

蕨市 「監事 田名部 誠」と 「理事 東嶋裕昭」が役職交代。

上記以外は、各市変更なし。

その他

・「ルール集改訂」について

広報関本氏によりホームページに掲載して改訂を関係者に周知する。

・ルール勉強会の結果を踏まえて、以下の確認がありました。

① ホームの空過について（小松審判部長）

1 塁側、3 塁側の走者がインプレー中にエンドラインを出たらアウトを宣告する。

ホームベースは、インプレー中に走者が空過してエンドラインを出ても、主審はアウトを宣告しない。守備側の言葉とプレーのアピールによりジャッジする。

② 塁の空過を判断する走者の足の位置について（小松審判部長）

走者のベース到達は、塁審がジャッジする。足の位置がベースの横であれば、バックとする。塁審のジェスチャーは、現在のセーフを改め、ベースを指すジェスチャーに変更する。

③ 臨時交代について（昭島市 福田氏）

一度交代した選手は、怪我の臨時プレーヤーになれないと勉強会で決定したが、ルール集 4 条 4 項には出場出来るとなっているので、怪我の交代出場可に変更する。

※各市にてこの変更点を伝達、確認下さい。勉強会の議事録変更。

④ 不正キックについて（小松審判部長、昭島市 福田氏）

勉強会の議事録には「ベースを蹴った時は蹴りそこないファウル」となっているが、「ベースを蹴っても、ボールのスピードでジャッジする」と決定したので議事録訂正の要請がありました。

※「ベースを蹴っても、主審はボールのスピードでファウルかどうかをジャッジする」に勉強会議事録の訂正し、各市での伝達をお願い致します。（甲山）

⑤ 予選結果が、2 チーム同率、3 チーム同率の場合の決定順は、大会要項に記載する。（従来通り）

⑥ タイブレークの設定について

現在の 2 アウト満塁の設定を、時間短縮のために今年度大会までに各市で検証する。昭島市は、「2 アウト 2.3 塁」で行って時間短縮がされた。

以 上

2019/05/12 事務局・(市川市) 甲山